

実践『ペルソナ』通信 (No. 62)
「カバンと財布における消費者行動」に関する調査結果

～女子大生 100 人に聞いた「カバンや財布をどこで買うか」*Ranking*～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、女子大学生を対象に、「カバンや財布をどこで買うか」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 118 サンプルでした。

その結果をランキング形式で、1 位から 10 位までを発表します。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「マーケティング（担当：斎藤明）」、「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、の 3 つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

女子大生 100 人に聞いた「カバンや財布をどこで買うか」ランキング

1	アウトレット	33 票
2	ブランド店	12 票
3	海外	11 票
4	ネット	9 票
5	地元	8 票
6	デパート	7 票
7	ショッピングモール	6 票
8	百貨店	5 票
9	通販	4 票
10	アパレル店 海外のアウトレット 免税店	3 票

（全体的な傾向を書く）今回の調査結果から女子大学生は、毎日の生活の中で必ず使うカバンと財布をアウトレットで買う人が圧倒的に多いことがわかった。また、ブランド店で買う人も多いことから、ブランドにこだわって買う人が多いこともわかった。

カバンや財布を買う上で、デザインを重視する人、値段やブランドなどこだわりは様々であることから、買う場所においても様々であった。

(1) 1 位：「アウトレット」。

1位は断トツでアウトレットだった。アウトレットで買う方が普通の値段より安く買うことができるのと、普段手が届かない値段のカバンや財布を買うことができるから1位なのであると考えた。

(2) 2位：「ブランド店」。

かばんと財布を同じブランドに揃えたり、好きなブランドにしたりする人が多いことがわかった。また直接ブランド店に行って、買う人も多いのは、好きなブランドの商品を実際に見て気に入ったものを探すのが良いからではないか。

(3) 3位：「海外」。

大学生は長期休みを利用して、海外に行くことが増えるから、海外で安く買うと考えた。

(4) 4位：「ネット」。

最近ネットが便利になり、何円以上で送料無料と表示されているサイトも増えてきたことから、実物を店舗で見て、ネットで買う人が多いと考えた。

(5) 5位：「地元」。

一番自分になじみのある地元で買うのが楽だと思える人も多いとわかった。

(6) 6位：「デパート」。

様々なお店が集まるデパートで、いくつもの店を回って気に入った商品の一つの場所で見つけるのは便利だと考えた。

(7) 7位：「ショッピングモール」。

ショッピングモールにもたくさんのお店が集中しており、一つの場所でさまざまな種類のものを見定めることができるから便利であると考えた。

(8) 8位：「百貨店」。

同じフロアに財布やカバンが売っていることが多いため、階を移動することなく見ることができると考えた。

(9) 9位：「通販」。

ハガキや、電話でカタログ見ながら注文できることから、お店に行かなくてもデザインで決めることができるから便利であると考えた。

(10) 10位：「アパレル店」： 洋服と同じブランドで買う人もいることがわかった。

「海外のアウトレット」： 海外のアウトレットは日本よりも安いことが多いため、カバンや財布などブランド品を買う人も多いことがわかった。

「免税店」： 空港にあることから、免税店で買うことで海外のものを安く買うことができると考えた。

(11) その他

古着： ビンテージ風のものが好きな人は、古着屋で型落ちしたカバンや財布を買うこともあると聞いたためこういった回答があったと考えた。

メルカリ： 売り切れて買えなかったり、あとから欲しくなったりしたときに、今流行りであるメルカリで買う人もいることがわかった。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象： 女子大学生 1-4 年生
2. 調査方法： 調査票調査
3. 調査期間： 2017 年 9 月 1 日 ~2018 年 1 月
4. 有効回答者数： 100 人

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会
3 年 牛上穂南